



ハザードマップについて

近年の局地的豪雨等により、浸水被害の発生が想定される範囲や避難場所などの情報を提供するとともに、防災意識の向上、浸水に対する備えに活用していただくために「ひたちなか市内水ハザードマップ」を作成しました。

この内水ハザードマップは、国土交通省が公表している関東地域想定最大降雨量である時間雨量153mmを想定して、その浸水範囲と深さを示したものです。浸水範囲と深さは、地盤の標高データを使用し、浸水シミュレーションにより想定しています。

想定される浸水は、雨の降り方によって拡大する場合や浸水範囲ではない場所(表示のない場所)でも浸水が発生する場合があります。

気象情報や近辺の状況に注意し、日頃の準備・心構えとしてご利用ください。

想定最大規模降雨 153 mm/hr

この地図の表示範囲



作ってみよう! マイ・マップ

- 自分の家から避難所までの道のりを書き入れて「マイ・マップ」を作ろう!
- 地図の国・県道や主要な道路を参考にどの道を通って避難するか家族と相談してみよう!
- 「マイ・タイムライン」とあわせて自分たちのハザードマップを完成させよう。
- 台風時期や大雨が降りそうな時には、作成した「マイ・マップ」、「マイ・タイムライン」を常に見直しましょう。

私たちの避難所

水害時における避難行動の考え方



避難のめやす(マイ・タイムライン)

災害時に自分のとる行動「マイ・タイムライン」を作成し避難のめやすとしましょう。

天気の状態・気象情報	行動の例	マイ・タイムライン
①日頃からの備え	非常用持ち出し品や備蓄品の準備・避難所の確認	
②大雨に備えた準備	雨水ますの清掃・浸水対策の準備	
③台風・大雨の予報	テレビ・ラジオ・インターネットなどで情報を確認・家族の予定確認	
④大雨警報・注意報	避難に向けた非常用持ち出し品の用意・避難の開始	
⑤冠水が始まり外が危険な場合、逃げ遅れたとき	建物の高いところに避難する 垂直避難	

マイ・タイムラインとは?

「マイ・タイムライン」は、台風や集中豪雨などの大雨によって浸水被害が発生する恐れがある時に、自分自身がとる標準的な防災行動を時系列的に整理し、とりまとめる行動の計画表です。

急な判断が迫られる浸水発生時に、自分自身の行動のチェックリスト、また判断のサポートツールとして役立ちます。

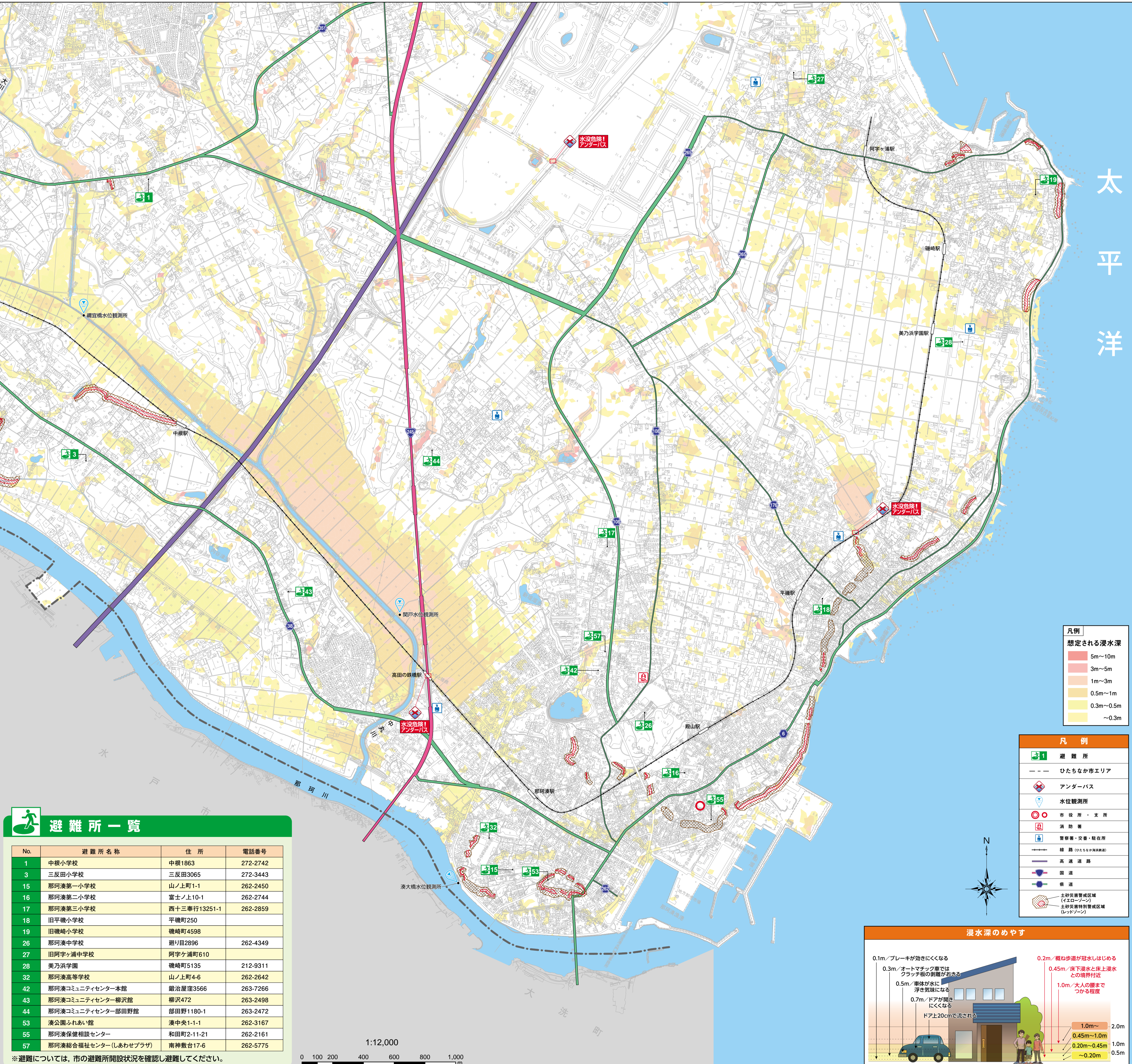
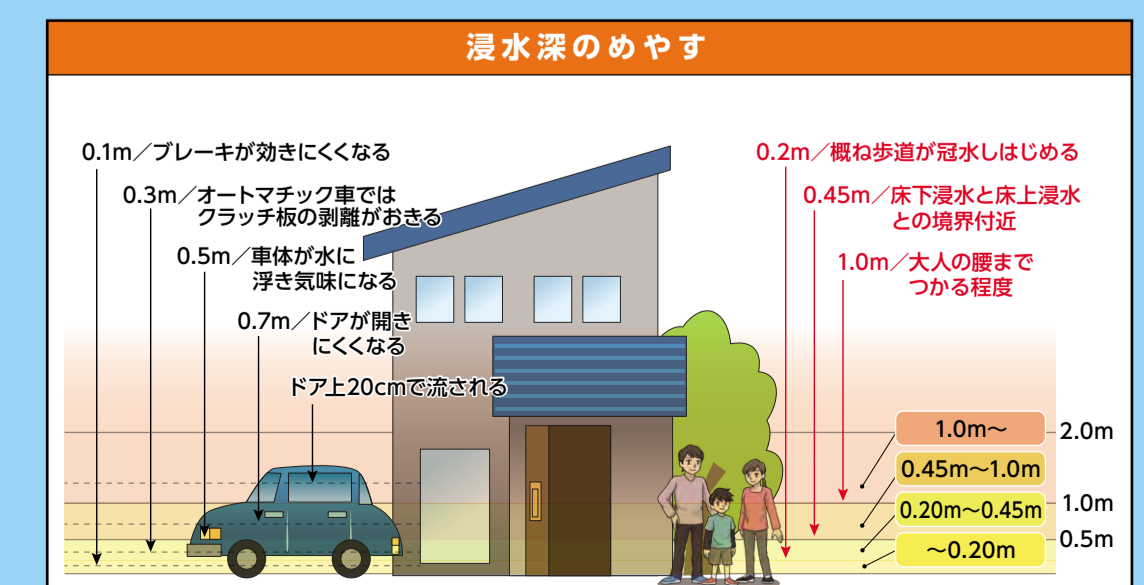
自分の家族構成や生活環境にあった避難に必要な情報・判断・行動を把握してマイ・タイムラインを作成し、「自分の逃げ方」を手に入れます。

水害はマイ・タイムラインで想定したとおりに進行するとは限りません!

- 水害によって異なります**
 - 雨の降り方
 - 内水ハザードマップの浸水範囲、浸水深
- 水害に応じて臨機応変に発表・発令されます**
 - 気象情報の発表
 - 避難情報の発令
- 水害に応じて臨機応変に対応しましょう**
 - みなさんの事前の備えが大切です。

マイ・タイムライン使用時の心得

- 心得1** あくまで行動の目安として認識する。
- 心得2** 避難に必要な情報・判断・行動を把握してマイ・タイムラインを作成し、収集・確認した情報をもとに、マイ・タイムラインを参考に、臨機応変に防災行動の実行を判断する。
- 心得3** 気象情報や避難情報等をこまめに収集・確認する。



避難所一覧

No.	避難所名称	住所	電話番号
1	中根小学校	中根1863	272-2742
3	三反田小学校	三反田3065	272-3443
15	那珂湊第一小学校	山ノ上町1-1	262-2450
16	那珂湊第二小学校	富士ノ上10-1	262-2744
17	那珂湊第三小学校	西十三番行13251-1	262-2859
18	旧平磯小学校	平磯町250	
19	旧磯崎小学校	磯崎町4598	
26	那珂湊中学校	廻り目2896	262-4349
27	旧阿字ヶ浦中学校	阿字ヶ浦町610	
28	美乃浜学園	磯崎町5135	212-9311
32	那珂湊高等学校	山ノ上町4-6	262-2642
42	那珂湊コミュニティセンター本館	鍛冶屋窪3566	263-7266
43	那珂湊コミュニティセンター柳沢館	柳沢472	263-2498
44	那珂湊コミュニティセンター部田野館	部田野1180-1	263-2472
53	湊公園ふれあい館	湊中央1-1-1	262-3167
55	那珂湊保健相談センター	和田町2-11-21	262-2161
57	那珂湊総合福祉センター(しあわせプラザ)	南神倉17-6	262-5775

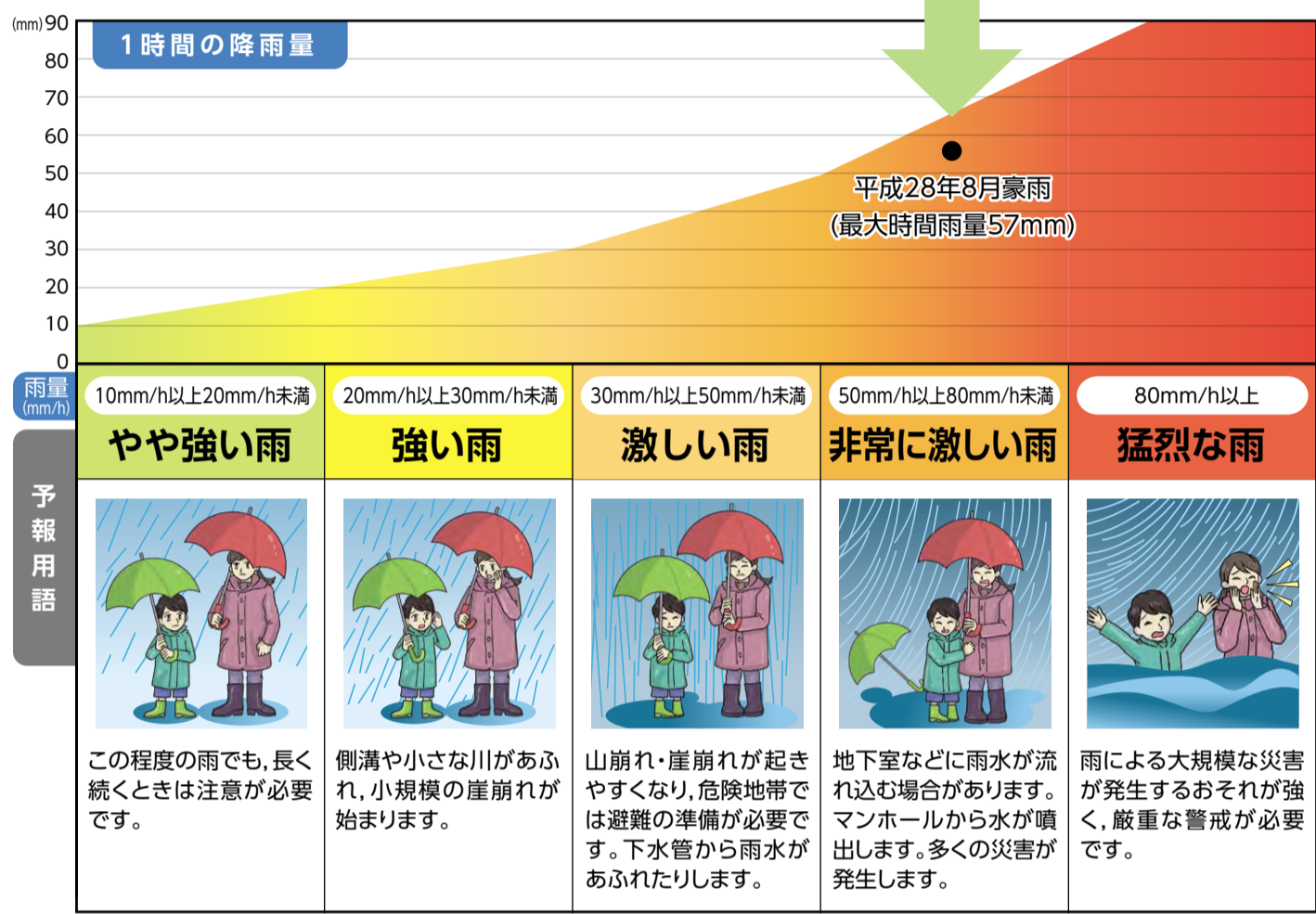
※避難については、市の避難所開設状況を確認し避難してください。

平成28年8月23日の豪雨災害における被害状況

- 平成28年8月23日の豪雨では、最大時間雨量57mmの降雨が記録され市内各所で浸水被害が発生しました。
- 特に浸水被害が大きかった高場・福田・大島・田産地区などでは、「床上浸水24戸」「床下浸水149戸」の家屋浸水が発生しました。

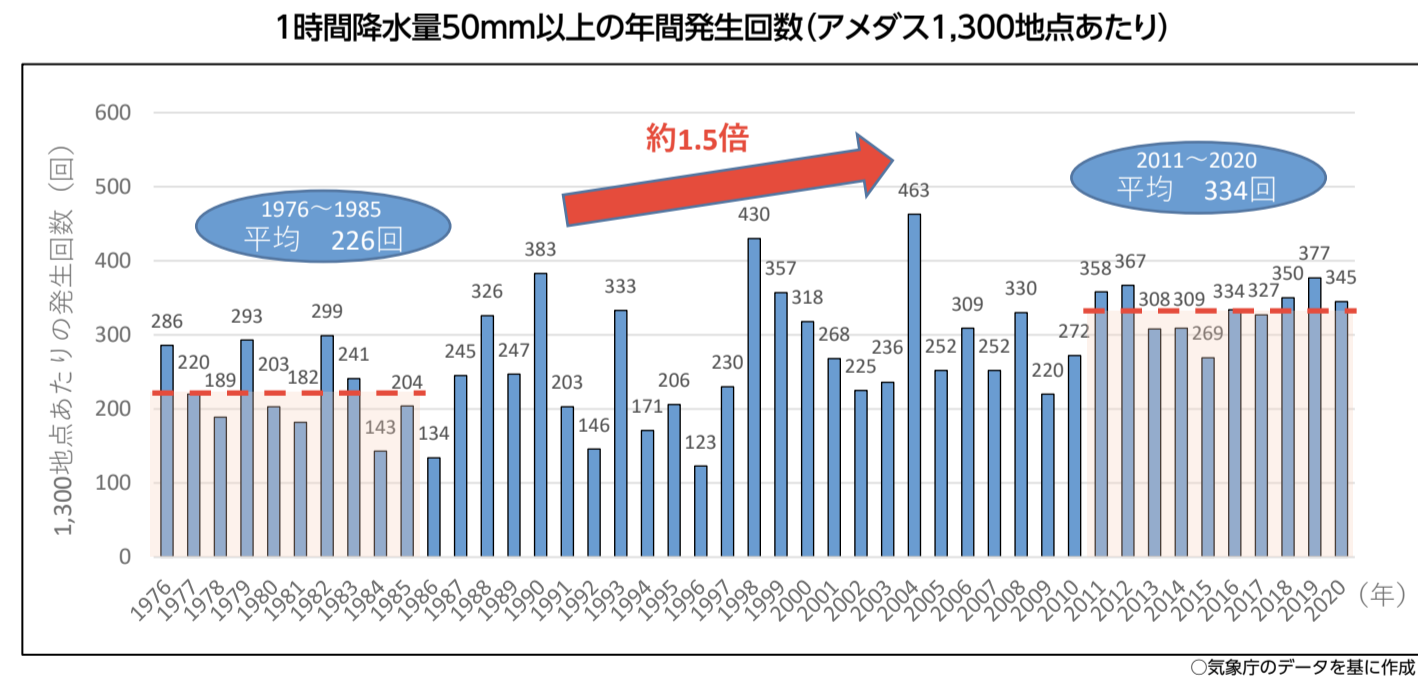


雨の降り方と災害の関係

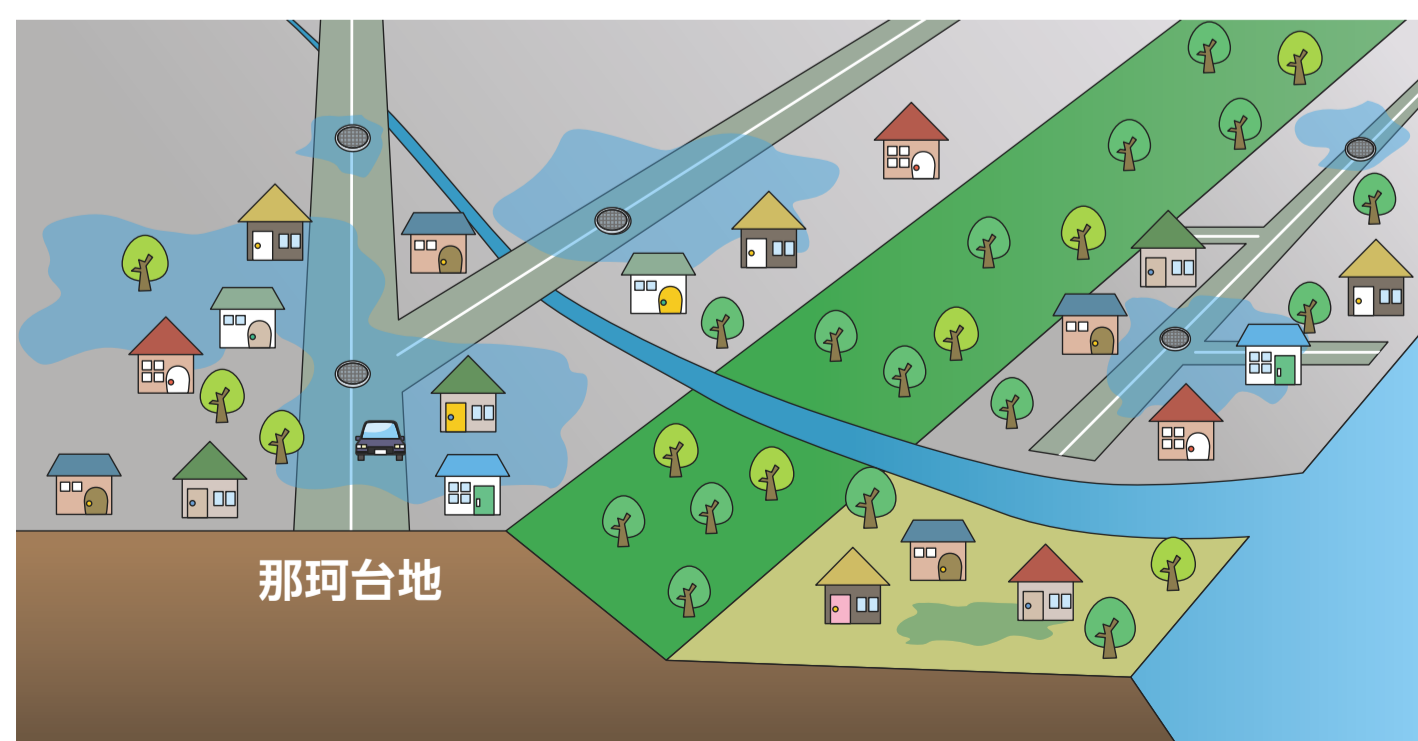


雨の降り方の変化

- 全国の1時間降水量50mm以上の年間発生回数は増加しており、最近10年間(2011~2020年)の平均年間発生回数(約334回)は、統計機関の最初の10年間(1976~1985年)の平均年間発生回数(約226回)と比べて約1.5倍に増加しています。
- 気候変動の影響により、水害のさらなる頻発・激甚化が懸念されています。



ひたちなか市の内水氾濫イメージ



- ひたちなか市は、那珂台地の平野部に住宅地が多く存在しています。そのため、平坦な地形であるため開発しやすい反面、水はけが悪く集中豪雨等で冠水しやすい特徴があります。

日頃の準備

Check

1 非常用持ち出し品の一例

<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ	<input type="checkbox"/> 懐中電灯	<input type="checkbox"/> 歩きやすい運動靴、スリッパ	<input type="checkbox"/> 乾電池、モバイルバッテリー	<input type="checkbox"/> 感染症への備え
<input type="checkbox"/> 水	<input type="checkbox"/> 非常食	<input type="checkbox"/> ヘルメット	<input type="checkbox"/> 救急セット	<input type="checkbox"/> 手指消毒用アルコール
<input type="checkbox"/> 貴重品	<input type="checkbox"/> ウエットティッシュ	<input type="checkbox"/> 紙おむつ	<input type="checkbox"/> 軍手	<input type="checkbox"/> せっけん、ハンドソープ
<input type="checkbox"/> 衣類・下着、タオル	<input type="checkbox"/> 笛	<input type="checkbox"/> 口腔ケア用品	<input type="checkbox"/> 持病の薬・お薬手帳	<input type="checkbox"/> 体温計

Check

2 「備蓄品」を準備

大災害時などは、水や食料などの支援物資が不足する事態も想定されます。最低でも3日、可能な限り1週間分を準備しましょう。

<input type="checkbox"/> 水や食料 (最低3日分) ×家族の人数分	<input type="checkbox"/> 生活用品 (トイレットペーパー、カセットコンロ、毛布など)
---	--

避難所での感染リスクを減らすため感染症対策にご協力をお願いします。

内水被害における対策・対応

●家庭でできる浸水対策

浸水による被害を最小限にとどめるために、日頃からの備えと対策が大切です。もしもの時の役割や連絡方法を家族や地域で話し合っておきましょう。

●雨水ます周辺の清掃を

雨水ますの取出口に落ち葉やゴミが詰まると、道路冠水や浸水の原因になります。雨水ますの清掃にご協力をお願いします。

●地下室には土のうや板などの準備を

地下室がある建物では、入口に土のうや板などを事前に準備しておきましょう。

●ご家庭での雨水貯留、浸透施設の設置を

宅地内に降った雨が地面にしみこむように、ご家庭での雨水貯留・浸透施設の設置にご協力をお願いします。

●大雨の時は排水を控えて

洗濯や風呂の排水は、雨がやんでからにするなどの配慮をお願いします。

●洗濯機、風呂、トイレなど意外な場所からの浸水に注意を

水害時には、洗濯機や風呂の排水口やトイレなどから下水が逆流することがあります。水のうで塞ぐなど対応をしましょう。

浸水を防ぐために土のうなどを置くことが有効です。浸水に備えて準備しましょう。

情報はどこから収集するの？

防災に関する情報は、テレビ・ラジオのほか、インターネットからも収集できます。下記の一覧などを確認し、最新の情報を入手し避難行動の参考にしてください。

●気象情報や河川に関する情報

■気象庁

天気予報、雨雲レーダー、気象警報等を確認できます。ホームページの「防災情報」から各地に発表中の警報等、「地域情報」から天気予報等を見ることができます。

<https://www.jma.go.jp/jma/index.html>

■茨城県土木部 雨量・河川水位情報

茨城県が設置する雨量計・水位計・河川監視カメラの情報が確認できます。

<http://www.kasen.pref.ibaraki.jp/sp/sv/index.html>

■茨城県防災・危機管理ポータルサイト

県内の地震情報・降水量・河川水位などが確認できます。

<http://www.bousai.ibaraki.jp>

■茨城県防災情報メール

気象警報、土砂災害警戒情報、地震、津波情報などが配信されます。

<http://www.pref.ibaraki.jp/seikatsukankyo/bousaikiki/bousai/bosai/mail/bosai.html>

■ひたちなか安全・安心メール

防災行政無線の内容(防災情報を含む)などすべての放送内容のほか、防災情報が配信されます。ケータイからも登録できます。

<https://www.city.hitachinaka.lg.jp/izatoitoutki/2/4/9503.html>

■防災アプリ

茨城県とひたちなか市では、ヤフー株式会社 | Yahoo!防災速報®を活用した災害関連情報の提供をしています。

App Storeからダウンロード | Google Playからダウンロード | iOS版 | 안드로이드版

■NHK総合テレビデータ放送

地上デジタル放送(データ放送)では、気象情報や河川水位情報がわかりやすく、リアルタイムに確認できます。

リモコン操作方法: ボタンを押す → 赤(気象情報)を押す ※河川水位情報を選ぶ

●防災お役立ち情報

防災情報を集める

市ホームページに避難所一覧などの情報を掲載しているほか、ひたちなか安全・安心メールや市公式ツイッターでは、災害時に被害状況や避難所情報などを発信しています。

地域の災害リスクの再確認

地震時や大雨時など危険を感じたときは、早めの避難が必要です。洪水ハザードマップ、土砂災害ハザードマップ、防災マップを活用して、自分自身の避難計画[マイタイムライン]をあらかじめ作成し、避難所の場所や経路、避難時の所持品などを家族で再確認しましょう。

特別警報・警報・注意報

特別警報・警報・注意報が出たときは、下記の表を参考に避難行動をとってください。

警報等の種類	説明	
大雨	特別警報	大雨により重大な災害が起こる恐れが著しく大きいと予想される場合に発表する予報。
	警報	大雨により重大な災害が起こる恐れがあると予想される場合に発表する予報。
	注意報	大雨により災害が起こる恐れがあると予想される場合に発表する予報。
土砂災害警戒情報	大雨警報の発表後、命の危険を及ぼす土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況となった時に、対象となる市町村を特定して警戒を呼びかける情報。	
記録的短時間大雨情報	大雨警報が発表されているときに、数年に1回程度発生する激しい短時間の大雨を観測、または解析されたことを発表する情報。	

避難判断の基準(警戒レベル等)

警戒レベル 5	緊急安全確保	安全な避難ができず命が危険な状態です。屋外への避難が困難な場合は、垂直避難等の命を守る最善の行動をとります。
警戒レベル 4	避難指示	速やかに危険な場所からの避難を行います。避難先は近くの指定避難所を基本としつつ、安全な地域にある親戚・知人宅等も検討します。
警戒レベル 3	高齢者等避難	避難に時間がかかる方は早めの避難をします。そうでない方も予定を見合わせるなど、情報収集や避難準備を始めます。
警戒レベル 2	気象情報(注意報等)	今後に備え、こまめにニュース等を見る。避難時の非常用持ち出し袋の確認などを行います。
警戒レベル 1	早期注意情報	災害への心構えを高めます。

※警戒レベルは必ず順を追って出るものではなく、気象状況が急変した場合などは即時高いレベルの発令となることがあります。

避難する時の注意点

1 正確な情報収集及び近隣住民との情報の共有を行い自主的な避難をしましょう

テレビ・ラジオ・インターネットなどで最新の気象情報や避難情報などの災害情報を入手しましょう。入手した情報は近隣住民と共有し、雨の降り方や浸水の状況に注意して、危険を感じたら早めに避難することを心がけましょう。

2 はき物

素足、長靴は禁物です。ひもで締められる運動靴を履きましょう。*長靴は水が入ると重くなるため歩行の障害となります。

3 避難するときは

動きやすい服装で、なるべく集団での避難を心がけましょう。

4 高齢者などの避難に協力を

高齢者や子供、病人、障害のある人などの避難に協力しましょう。

5 車での避難は危険

避難指示や水害発生後の車での避難は、緊急車両の通行の妨げや渋滞、浸水により車が動けなくなる恐れもあり危険です。やむをえない理由で車を使用する時は早めに避難しましょう。

6 マンホールや側溝に注意

移動時はマンホールや側溝に注意しましょう。

7 無理せず周辺の安全な建物へ

浸水深が50cm以上になると、避難の際に危険が伴うことがあります。無理せず、周辺の安全な建物に避難しましょう。

●危険箇所

- ⚠ 水路周辺
- ⚠ 坂道(勾配のある道路)
- ⚠ アンダーパス

水路には、ガードレールなどの柵がない場合があります。冠水時には、水路の場所が分からず誤って流される危険がありますので、近づかないようにしましょう。

坂道は、大雨により川のような流れになります。坂道の通行は十分注意してください。

地下道や地下歩道などの低い場所は、大雨時には周辺から水が流れ込んで冠水する恐れがあり危険ですので、近づかないようにしましょう。

●内水に対する心構え

「自助」…自ら守る行動
「共助」…地域や身近にいる人同士が助け合う行動
「公助」…国や地方公共団体による行動

早めの避難を心がけましょう

浸水してからの避難は危険です。雨や河川水位などの情報をもとに、身の危険を感じたら避難指示等を待たずに自主的に避難を開始してください。

ご近所に声をかけましょう

単独での避難は思わぬ事態にあつたときに危険です。避難する前に隣近所に声をかけ、集団での避難を心がけましょう。

避難所では互いの気遣いが大切

避難所では、多くの方が一定期間滞在します。他人に不快を感じさせないよう、お互いの気遣いが大切です。避難所では、他人任せにせず、自分でできる範囲で運営に協力しましょう。